

平成27年1月7日

北実会の皆様

北実会 太田誠

新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで元気なお正月を過ごされたことと存じます。

昨年は住民の税金である補助金の支出をストップさせ、北総鉄道の値下げ負担は維持（自主値下げ）、通学定期は現行通りとすることができて、ほぼ目標の成果を得ました。北総の株主総会では板倉市長が値下げを力強く主張しマスコミにも大きく取り上げられました。千葉県と京成電鉄には会から値下げの抗議と質問書を送り、県交通計画課には直接値下げの交渉をいたしました。耐震補強工事についても沿線各市に適切な提案・要請書を提出し対応を要求しました。

本年も沿線住民の悲願である京成並み運賃実現を目指し行動したいと思います。例会などで課題として下記のような項目がでていますが、皆様の積極的なご意見、ご発案によりスピード感をもって効果的に活動していきたいと思います。

1. チラシをシンプル、一目で判るものに工夫し読んでもらう人数を増やす。
2. 各自治会の役員会にできれば出向いて、北総運賃は不当であり大幅値下げが可能であることを説明し賛同を得、世論につなげる。
3. 4月の県議選、市議選に向け議員候補にアンケートを送り北総線の値下げ取組みが県民・市民の最重要課題であることを訴える。
4. 船橋から斉藤和子代議士が誕生した意味は大きく、早期に面談の機会を得て北総線運賃値下げに強い支援をお願いする。
5. 国土交通省の鉄道局に直接出向き北総線の不当高運賃の引き下げを訴える。
6. 定例会で承認されました政策委員会の輪を広げ適宜適切な対策や活動を提起してもらい迅速な活動を実行していく。

等々です。

ぜひ本年も皆様の力強い活動により住民が満足し、幸せになる運賃実現のために頑張ってください。

以上